

改善要求・第二弾！ 東京交番検査車両所編！

まだまだ暑い日が続きます。検修庫での作業はうだるような暑さとの闘いでもあります。皆さん、熱中症対策は大丈夫ですか？！
多くの要求を勝ち取るために奮闘して行こうではありませんか！

①庫から庁舎までの移動時間を勤務時間内とせよ。

特に、交番検査終了後、記帳室からの退出時間が遅いため、昼の休憩時間確保及び退庁点呼に並ぶのに急いで移動しているのが現実である。

焦りと混雑（庁舎エレベーター含む）で傷害事故を起こしかねない。

②庁舎 7 階の詰所が狭いので改善されたい。

③交検 1、2、3 班の各ユニットに配備されているスポットクーラーが老朽化しているので新品に交換されたい。また、特修班の待機場所のクーラーが故障し、手配しているが修理されることなく何日も放置されていた。このような場合は、すぐに修理する体制を確立するとともに、早急に新品と交換されること。

④検修庫の夏・冬の暑さ・寒さ対策を万全とすること。

交検では、夏は、麦茶をユニットに置くようにしているが、その麦茶代を社員が負担しているが、会社が負担すべきである。

⑤7～8 番間に給水栓を設置するための工事が行われているが、ガラス取替に支障するし、ターレット通行や作業上でも危険であるため撤去すること。

⑥交検は土・日の休日を基本とすること。

また、土日、祝日に出勤が発生する場合は月初めに公表すること。

⑦東京交番検査車両所の検修庫 7 番線と 8 番線及び 9 番線における同時交番検査施行において、放送が錯綜するため聞き分けることに神経を使い、作業者は非情に疲労感が増している。

特に、9 番線海側のサービスデッキ上では、放送が聞こえないので、スピーカーを設置するなどの対策を願いたい。

また、実際に放送を聞き間違えたと思われる誤作業も発生しているなど、安全作業に支障があるため以下の改善策をとること。

ア. スピーカーを単一指向性のものにして各ユニットの天井部に設置すること。

イ. 放送装置のスイッチを入れたら各ユニットのスピーカーにランプが点灯するようにし、放送状態が可視化できるものとする。

⑧交番検査施行時にも関わらず、隣接の検修庫 10 番線に入出庫している。

また、列車が加圧状態であるために交番検査において、漏気音の確認や放送の聞き取りなどに支障をきたしている。よって、交番検査施行時は基本的に検修庫 10 番線には列車を入線させないようにすること。

**自分たちの職場は、自分たちが作り上げていくのです。
声を大にして職場要求を勝ち取って行こうではありませんか！**